

平成24年度

事業計画書

新公益法人制度における公益財団法人として新たなスタートを切りますが、理念であるユースホステル運動の活性化や青少年の健全育成活動に一層積極的に取り組んでいきます。また、新大阪のレストラン運営を含めた大阪市立青年センター、自立化2年目の羽衣青少年センター、貝塚の大阪府立少年自然の家では、地域における社会教育拠点としての機能を維持し、利用者の満足度を更に高める運営を目指していきます。

重点目標

1. ユースホステル運動の振興のための積極的な取り組み
日本ユースホステル協会の本部事務局を支援し、会員登録制度の維持、国際ユースホステル連盟との連携、広報活動などの業務代行など通じて、ユースホステル運動の振興と発展に積極的に取り組みます。
2. 大阪府羽衣青少年センターの安定的運営
直営2年目を迎える羽衣青少年センターの安定的な運営を推進し、大阪国際ユースホステルとの一体化をさらに進め、サービスの向上と利用者増を実現します。
3. 新大阪レストラン部門の自立化
開業2年目のレストラン運営の効率化により収益好転も図りながら、大阪市立青年センター・新大阪ユースホステルの利用増と一体運営を促進し、更なる利用者満足度向上と社会教育的な事業の充実を図ります。
4. 府立少年自然の家の魅力向上と利用者数目標の達成
プログラムの充実・職員スキルの向上・施設環境の整備・リーダー組織の育成・広報の強化等を行い、施設の持つ潜在的魅力を引き出し、利用目的達成のための支援・積極的な事業展開・利用者数目標達成を目指す。
5. 事業拡大のための活動展開
新しい活動拠点作りのために新たな指定管理施設の研究に努め、拠点としてふさわしい施設については積極的にその取得を目指します。

事業計画

1, 登録会員数の増強

(単位=人)

	平成24年度目標	平成23年度予測	前年対比
大阪	4,000	4,000	100.0%
全国	45,000	45,000	100.0%

青少年を主体にした会員獲得対策の実施

- ・インターネットによるオンライン入会の推進
- ・パブリシティーを強化し広報活動を充実
- ・大学YHクラブを中心にした事業の展開と連携
- ・日本ユースホステル協会事務局機能の一部代行の提案

2, ホステルの利用促進

(単位=泊)

	平成24年目標	平成23年予測	前年対比
大阪	60,000	55,000	109.1%
全国※	450,000	430,000	104.7%

※(全国における数値は1月-12月の統計による)

(1) それぞれの特性を活かしたホステルの魅力アップ

都市型ホステル(新大阪・長居)

研修合宿型ホステル(大阪国際)

郊外型としての機能(玉泉寺・河内長野)

(2) 再オープンする河内長野ユースホステルの運営支援

(3) ホステル相互の情報交換と連携の推進

(4) 海外にむけた情報の発信

(5) マスコミを中心としたパブリシティー活動

3, ユースホステル運動に即した事業推進

(1) ホステリング事業・ウォーキング事業

① こどもひとり旅ホステリング 計10本

② こども自然体験教室の推進 夏8本、春6本

③ 第40回「伊勢迄歩講」記念大会の実施(12月)

④ 100キロウォークの実施(5月)

⑤ 歩行検定など定例的なウォーキング事業の実施 計9本

(2) 会員サービスの事業・国際交流

① 旅行セミナーと旅行相談会の充実 計2回

② 外国人旅行者のためのインフォメーション活動

- (3) リーダーと指導者の養成
- ① ボランティアリーダーのスキルアップのための研修会（4月）
 - ② 大学YHクラブと連携・大学YHクラブ合同プロジェクト（9月）
 - ③ ユースホステルお助け隊への支援（年3回）
- (4) その他の委託事業
- ① JICA「青年研修事業」の受け入れ
 - ② ジュニアヘルパー制度の実施（小学校高学年による体験プログラム、外国人宿泊客へのインフォメーション作業など）
 - ③ 海外からの青少年の研修などを受け入れ
 - ・IJGDによるドイツ人ボランティアの受入れ（1年間3名）

4, 直営ホステルの運営

	平成24年目標	平成23年予測	前年対比
新大阪	20,000	16,500	121.2%
大阪国際	26,600	26,300	101.1%

- (1) 新大阪ユースホステルの運営
- ・海外の学校団体及び個人ホステラーの誘致を積極的に強化
 - ・世界ランキングNo.1の評価を再び勝ち取れるよう努力する
 - ・コプラザ利用者との併用利用の推進
 - ・青少年団体利用の促進とプログラムの充実
 - ・国内の修学旅行ニーズに対する積極的な展開
 - ・新大阪YHならではの特性を生かしたサービス事業の実施
 - ・環境に配慮した施設運営
 - ・自主事業の実施…宿泊者対象の自由参加のイベント 70本
- (2) 大阪国際YHの運営
- ・青少年センターとのより推し進めた一体運営により効率化を図る
 - ・魅力あるホームページづくり
 - ・海外予約サイトによる外国人利用者の受入れ努力
 - ・オリジナル宿泊プランによりファミリー層の獲得
 - ・お客様の声を生かした売店コーナー商品の充実
 - ・きめ細かい顧客管理の充実により、“おもてなし力”アップ
 - ・お客への積極的な声かけにより、生の声（感想）を聴きだす
 - ・施設の使いやすさの向上、親しみやすさの演出
 - ・近隣の方が参加しやすい地域密着型のイベント実施
 - ・より環境に配慮した施設運営

5, 直営青少年施設（大阪府羽衣青少年センター）の運営

- ・ 24年度目標の178,000人利用を達成
- ・ 利用者満足度の向上により、使いやすい施設運営を目指す。
- ・ 稼働率や統計の調査を進め、利用促進を進める。
- ・ 施設の修繕や整備に取り組み、顧客満足度のアップを目指す。
- ・ 魅力的な自主事業（プログラム）の推進
 - こども対象事業 33本
 - ファミリー対象事業 4本
 - 一般向け体験プログラム 137本
- ・ ママヨガや、ノルディックウォーキングなど、他にはない魅力的な自主事業の推進。

6, 指定管理事業の円滑な運営管理

	平成24年度目標	平成23年度予測	前年対比
自然の家	94,000	92,000	102.2%
ココプラザ	200,000	196,000	105.9%

(1) 大阪府立少年自然の家

- ・ 一般財団法人大阪府青少年活動財団との共同運営による施設運営の強化
- ・ 青少年の健全育成・学校教育との連携
- ・ 自然に親しむ・環境教育の推進。
- ・ 安心・安全な施設。
- ・ 府立施設としての役割の達成・障がい者の活動支援・利用目的達成の支援
- ・ 食育活動の推進・食事がおいしい施設。
- ・ 24年度94000人、4年後100000人の達成目標。
- ・ 広報・集客措置の強化。
- ・ 大阪府青年の家等連絡協議会事務局の引き受け。
- ・ ボランティアリーダーの募集育成と活動の開始。
- ・ 主催・自主事業、連携事業等の実施。
 - そぶらの森 里山自然遊び塾 3本
 - 稲作丸ごと体験 3本
 - 森の学校 フォレストジュニアクラブ 5本
 - 長期自然体験活動「夏休み子どもキャンプ6泊」 1本
 - 知的障がい児支援事業 2本
 - 野外活動指導者養成事業 2本

○アドプトフォレスト事業	2本
○焚き火事業	7本
○地元連携「自然の家わづなデー 音の葉音楽祭」	1本
○連携事業「森の絵本をつくろう」	1本
○連携事業「教志セミナー」	1本
○連携事業「泉大津市子どもキャンプ」	2本
○青少年財団実施こども事業・講習会事業	5本

(2) 大阪市立青少年センター（愛称：KOKOPLAZA）

- ・ 青少年活動の拠点として青少年のさらなる利用促進を目指す。
- ・ 施設の一体運営をめざし、レストラン事業のライブレストラン・アートショップの機能を強化する。
- ・ 文化ゾーン・宿泊ゾーンに加え、レストラン部門、技術スタッフを含めた、複合的な業務融合を実現させた施設運営を行う。
- ・ 施設稼働率と費用対効果を見据ながら顧客ニーズを引き出す。
- ・ 大阪市担当局との協働により、青少年育成事業を継続的に展開する。
 - ここぷらキッズ事業
 - 子育て支援事業
 - カルチャー教室支援事業
 - 高校生音楽祭
 - フォーラム事業
 - ジュニアダンスオペラ事業
- ・ 青少年活動の拠点として、提案型の自主事業を充実させる。
 - 青少年育成事業
(サマースクール・こども夢創造プロジェクト) 2本
 - 地域密着イベント事業
(夏まつり・年賀状コンテスト) 5本
 - ワークショップ事業(ゴスペル・PC講座) 11本
 - 世代間交流事業(童謡喫茶) 8本
- ・ レストラン部門の自主イベント開催と魅力アップ
 - ライブ事業 50本
 - ギャラリー事業 6本
 - イベント事業 6本
 - 季節限定メニューの充実

以 上